

令和2年第14回

# 荒川区教育委員会定例会

令和2年7月22日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和2年荒川区教育委員会第14回定例会

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| 1 日 時  | 令和2年7月22日   | 午後1時30分   |
| 2 場 所  | 特別会議室   |   |
| 3 出席委員 | 教 育 長<br>教育長職務代理者<br>委 員<br>委 員   | 高 梨 博 和<br>小 林 敦 子<br>長 島 啓 記<br>坂 田 一 郎  |
| 4 欠席委員 | 委 員   | 繁 田 雅 弘   |
| 5 出席職員 | 教 育 部 長<br>教育総務課長<br>学 務 課 長<br>指 導 室 長<br>教育センター所長<br>書 記<br>書 記<br>書 記<br>書 記 | 三 枝 直 樹<br>山 形 実<br>菊 池 秀 幸<br>津 野 澄 人<br>大久保 和 彦<br>杉 山 茂<br>小 川 綾 一<br>丸 田 恭 雅<br>宮 島 弘 江 |

## 6 案 件

### ( 1 ) 報告事項

- ア 新型コロナウイルス感染症対策に伴う、令和2年度小学校移動教室の中止について
- イ 令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会からの報告について

### ( 2 ) その他

教育長 ただいまから荒川区教育委員会、令和2年第14回定例会を開催させていただきます。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、4名出席でございます。

議事録の署名委員につきましては、小林委員、坂田委員、御両名にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

4月24日開催の第8回定例会及び5月8日開催の第9回定例会の議事録につきましては、前回の定例会にて配付し、この間、御確認をさせていただいたところでございます。本日、委員の皆様から特に御意見等がなければ承認とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

教育長 それでは、承認いたします。

5月22日開催の第10回定例会の議事録を皆様にお送りしてございます。次回の定例会で承認についてお諮りいたしますので、次回までに御確認いただき、お気付きの点、御意見等があれば、事務局まで連絡をお願いいたします。

それでは、本日の議事日程に従いまして、議事を進めます。

本日は審議事項が2件となっております。

初めに、報告事項ア「新型コロナウイルス感染症対策に伴う、令和2年度小学校移動教室の中止について」を議題といたします。指導室長から説明があります。

指導室長 「新型コロナウイルス感染症対策に伴う、令和2年度小学校移動教室の中止について」御報告させていただきます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を鑑み、令和2年度の小学校清里移動教室、下田移動教室を中止といたしました。

中止としました理由についてです。緊急事態宣言発出後、新たな生活様式に沿った三つの密を避けるための感染予防対策を、移動手段、宿舎の利用方法、受入施設による行動方法等、多面的に検討を行ってまいりましたが、一部の学校では密の解消ができないことや、昨今の東京都内における感染拡大及び現地自治体の医療体制が整わない事情もあり、令和2年度の小学校の移動教室を中止いたしました。

検討の経緯につきましては、資料を御確認ください。

今後の手続きについてです。もう既に行っているところですが、小学校長宛てに中止決定の通知を7月17日に行いました。その後、順次各校において保護者宛ての中止決定の通知を行っております。

令和3年度の移動教室が心配されるところですが、校長会と調整の上、安全・安心な運営方法の検討を行っていきたいと考えております。

特別区の中止状況につきましては、6月30日現在で以下のようになっております。中止を決定していない区についても、実施するかどうかということで検討を継続しているということでした。

私からは以上です。よろしくお願いいたします。

教育長 本件につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。指導室長、発熱時の医療体制のことについて補足して説明をしていただけますか。

指導室長 現地の保健所等に確認しましたところ、発熱、特に夜、子どもたちが発熱しやすいのですけれども、その際にはすぐに病院に行くということではなく、保健所にまず連絡をして指示を仰がなければいけない。指示を仰いだ後、小児科がいる病院まで運ばなければいけない。そうなりますと、近くの病院とは限らず、場合によっては遠くへ行かなければいけないという状況が発生します。下田も清里も同じような状況であり、万全な体制は整えられていないという判断をさせていただいたところです。

教育長 ただいま指導室長から説明がありましたように、今年中止をせざるを得なくなった一番の理由は、発熱時の対応について、施設所在の下田市と北杜市にもそれぞれ確認をしたのですけれども、児童が発熱したときの医療機関の受入体制が地方はまだ十分ではないということでした。通常、発熱時に子どもたちを連れていっている医療機関では対応できないおそれがあるということです。そうすると、児童の万が一のときの安全性が担保されない可能性があります。

先生方、御意見、御質問等ございますでしょうか。

小林委員 一つだけ。中止をされたというのは、児童の安全・安心を考えたときに、妥当な判断であったと思います。ほかの区もまだ現在検討中ということですが、ほかの区に関してもこれから中止になる可能性もかなり高いということですよ。

指導室長 そう思われます。今、検討しているところだと思います。

小林委員 ありがとうございます。

長島委員 各種契約ということも書いてありますけど、こういう時期に中止ということで、特に契約上何か問題が出ているとか、そういったことはないかと理解してよろしいですか。

教育部長 キャンセル料等については発生しない形で今、調整はしております。ですので、特段今回中止することによって、何か保護者に負担を求めるとか、そういったものについてはないです。

長島委員 ありがとうございます。

教育長 いずれも区の施設です。下田も区の施設ですし、清里も区の施設ですので、業者に委託をしていますけど、適正な委託料を区として払うという形で対応する予定です。

坂田委員 私も移動教室の中止については、妥当な御判断だと思います。これまでこういった移動教室のような形で、子どもたちの教育に関して、やはり子どもたちを触れ合いの中で育てていくということを我々はやってきたわけですが、残念ながら当面これまでやってきた方式を使うことができないことがもう明らかになったということだと思います。

我々が本当は考えないといけないのは、中止は中止でいいのですが、そこで空いた部分です。教育の方針自体は変わらないわけで、ほかの方法で何か補える余地がないだろうかということを探る必要があるなと思います。

以上です。

教育長 指導室長。

指導室長 移動教室、5年生、6年生はなくなったということで、特別活動の領域の集団宿泊的行事という領域でやっているものですので、そこにはねらいがありますので、同じようなことはできないですけど、やはりそのねらいをほかの方法で、友だちと協力するですか、係活動をやっていくですか、うまくその辺はフォローしていけたらと考えています。

坂田委員 もう一言申し上げておきます。将来的にはもしこういった状況が継続するとすると、それぞれの教科の中でやはり少しシフトさせて、今、おっしゃったように、協力して何か活動するというのを、それぞれの教科の中で従来より少し多めに取り入れるとか、我々の教育の目標が変わらないとすると、ほかの方法で、極端に特定のところに片寄せすることも多分合理的ではないと思いますので、全体としてそれはカバーするようなことも考えていく必要があるのではないかなと思います。

教育長 大変貴重なお話なので、改めて校長を通して、教員にも周知をさせていただければと思います。

ちなみに、修学旅行の状況についても説明してください。

指導室長 修学旅行、何とか行かせてあげたいということで進めているところです。ただ、実際に9月上旬から始まる学校が、今、感染状況が増えている中、どういう対応をしていったらいいのかということをお話を8月上旬に校長と話す予定であります。

教育部長 補足でよろしいですか。修学旅行に関しては、中学校が対象になりますけれども、中学校の校長先生方には、キャンセル料が発生してもいいので、ぎりぎりまで行ける方向で調整してくださいというお願いをさせていただきます。キャンセル料については、区の方で負担しますからという形で今、お願いしております。何とか行けるのであれば、行かせてあげたいなということです。

小林委員 一生の思い出になるかと思しますので、条件が合えば、行かせてあげたいですね。

長島委員 特別活動を全体としてちょっと見直す必要があるということですかね、こういう状

況ですと。いろいろなものが中止になっているということで。

教育総務課長 今回、移動教室も様々検討して、場合によっては、場所を変えることとか、お医者さんの同行だとか、そういったことも検討したのですが、やはり今の時期、熱を出した段階で、コロナを先に疑うと普通の病院ではなくなってしまうので難しいところです。修学旅行の京都、奈良では、比較的医療機関が都心に近い環境で、宿としても感染対策は整っているのですが、今の状況では行かせたいのですが、G o T oも含めてどうか。また来年以降についても、先ほど坂田委員からございましたように、新しいやり方。例えば場所を一時的に変えて、東北だとか、京都・奈良以外のところにするとか、様々検討していく必要があると思っています。

教育長 よろしいでしょうか。それでは、前回の定例会で御報告いたしました小学校での新型コロナウイルス患者発生について、その後の対応並びに現時点での報告をさせていただきます。

学務課長から説明がございます。

学務課長 資料はございませんが、口頭で御報告させていただきます。

7月8日水曜日に大門小特別支援学級の児童が陽性と判明いたしました。御親族からの感染ということで夜、判明しましたが、翌日からの休業を速やかに決定してまいりました。そしてその後、保健所により濃厚接触者と判定された教職員、児童を含め100名の方に、7月10日金曜、11日土曜にPCR検査を実施し、週明け月曜日に全員、おかげさまで陰性という結果が出ました。学校の休業16日木曜日までしておりまして、もう再開をしております。当事者の陽性の子もおかげさまで症状がなく、お元気だということでしたので、再開後から元気に登校していただいております。また、全員陰性という最良の結果でございましたので、学校も特に大きな混乱なく再開をしているということでございました。

雑駁ではございますが、御報告でございます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございますでしょうか。

坂田委員 皆さん陰性ということで、それも何よりですが、その間の授業とか、そういったものの補完というのは、何か考えられているのですか。

指導室長 特別支援学級の休業のところですが、その翌日にはホームページで時間割表を掲載しまして、併せて教材も掲載して、自宅にいるお子さんについては、それを活用して勉強するよという指示を出しております。あと特別支援学級につきましては、最終日の7月16日木曜日ですけど、Z o o mによります健康観察ですとか、クイズ・じゃんけん大会ですとか、あしたの予定ということにつながりを持った取組を行いました。

以上です。

小林委員 感染の患者さんが出た場合に、消毒が必要になるかと思うのですけれども、その消毒はどのような形でされておられるのですか。

学務課長 特別に業者を入れた消毒はしなかったのですが、通常から教員がしっかり消毒をしていただいております、今回は特に念入りにやっただけです。陰性であったということもありまして、そのような対応とさせていただきます。消毒作業は教員の先生方でしっかりやっていただきました。

小林委員 そうですか。先生方、大変だったと思います。

教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

本件については以上とさせていただきます。

次に、報告事項イ「令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会からの報告について」を議題といたします。本件につきましては、教科用図書採択の公正を確保する必要がありますため、会議規則第11条の規定及び荒川区立学校教科用図書採択要綱第7条により会議を非公開とし、議事録及び資料については、採択が終了するまで時限秘とさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

教育長 異議ないものと認めます。報告事項イについては、会議を非公開とし、議事録及び資料については、採択が終了するまで時限秘といたします。

本件につきまして、指導室長から説明があります。

指導室長 令和3年度から使用いたします、中学校教科用図書につきましては、文部科学省より示されております中学校用教科書目録令和3年度使用に掲載されております69種類の教科書の中から10教科16種目について、それぞれ1種類の教科用図書を荒川区立学校教科用図書採択要綱に基づき、8月7日に御採択をいただきます。よろしくお願いたします。

本日は令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択に係る選定調査会の調査研究のまとめについて御報告申し上げます。

先ほども申し上げました、荒川区立学校教科用図書採択要綱に基づきまして、5月27日に教科用図書選定調査会を設置いたしました。この選定調査会は、学識経験者、地域関係者、保護者、学校関係者の計8名で組織されておりまして、全3回の協議を通して、すべての教科用図書に関しまして調査研究を行いました。

この間、選定調査会から各教科に関し、専門性の高い本区の中学校長及び教員により組織される教科専門部会に調査を依頼いたしまして、その報告を受け、その内容を参考にしながら、具体的な調査研究をしてまいりました。机上に配付させていただきました「令和3年度使用中学校教科用図書調査研究報告書」に調査研究をまとめさせていただきます。

これは教育委員会から御依頼いただきました内容、表現、学習活動、使用上の便宜、地域性の5項目につきまして、客観的に特徴をまとめたものでございます。

本日はこの後、調査研究報告書の内容を教科用図書ごとに1、2点ずつ御報告させていただきます。

それでは、教科「国語」、種目「国語」から調査研究のまとめを御報告申し上げます。

「新しい国語」東京書籍でございます。内容につきましては、発展・補充教材が充実しており、文法の指導に生かせることができるものとなっております。学習活動につきましては、言語活動の導入に漫画が使われており、生徒たちが想像しやすくなっております。

「現代の国語」三省堂でございます。内容につきましては、「読書の広場」が充実しております。学習活動につきましては、「読み方を学ぼう」を使いながら、問題解決的な学習活動を進められるものとなっております。

「伝え合う言葉 中学国語」教育出版でございます。内容につきましては、横書きページと縦書きのページが混在しております。学習活動につきましては、題材自体の掲載は少ないのですが、「学びナビ」が設けてあり、学習活動や言語活動を進めることができるものとなっております。

「国語」光村図書出版でございます。内容につきましては、思考のレッスン等生徒の学びを支援する教材が掲載されております。学習活動につきましては、精選することも可能であります。問題解決的な学習内容が充実しております。

続いて、教科「国語」、種目「書写」についてでございます。

「新しい書写」東京書籍でございます。内容につきましては、教科書の内容とも並行して、学習しやすいように工夫されております。

「現代の書写」三省堂でございます。内容につきましては、硬筆の課題が毛筆に比べて多く、めあてが明確に示されております。

「中学書写」教育出版でございます。内容につきましては、カラーや写真のページが多く、資料集として活用することができます。

「中学書写」光村図書出版でございます。内容につきましては、お手本となる書写だけでなく、資料やカラーページが多く、見やすいものとなっております。

続きまして、教科「社会」、種目「地理」でございます。

「新しい社会 地理」東京書籍でございます。内容につきましては、世界の諸地域の単元は、地形についてイラストや写真と関連させております。また、世界地理の方が多く書かれております。学習活動につきましては、単元ごとの「探究学習」の視点、チェックポイントの視点を掲げており、学習の方向性が示されております。

「中学社会 地理 地域にまなぶ」教育出版でございます。内容につきましては、補助資料としてコラム「地理の窓」を設け、発展的内容への配慮がなされております。また、日本地理の方が多く書かれております。学習活動では、各ページに「学習課題」「確認」「表現」が記載されており、学習の流れが示されております。

「社会科 中学生地理 世界の姿と日本の国土」帝国書院でございます。内容につきましては、見開き左ページ下に小学校や歴史・公民とつながる単語が書かれております。また、日本地理の方が多く書かれております。学習活動では、それぞれの章・節には「問い」、各ページに「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が記載され、学習の流れが示されております。

「中学社会 地理的分野」日本文教出版でございます。内容につきましては、生徒の興味や関心を高めるためのクイズが設定されております。また、日本地理の方が多く書かれております。学習活動では、学習課題が掲げられ、そこに「見方・考え方」の視点が書かれております。

続きまして、教科「社会」、種目「歴史」でございます。

「新しい社会 歴史」東京書籍でございます。内容につきましては、各章の初めに小学校で学んだ言葉や人物のイラストなど掲載されており、小学校で学んだ内容を振り返りやすいものとなっております。学習活動につきましては、見開きで導入、展開、まとめと探究課題の解決への流れが構造化されており、課題解決的な学習を構成しやすくなっております。

「中学社会 歴史 未来をひらく」教育出版でございます。内容につきましては、近現代史に重点を置き、課題を追究するための工夫がされております。学習活動では、基本2ページ編成で、「課題」「確認」「表現」を明確に提示されております。

「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」帝国書院でございます。内容につきましては、「歴史のとらえ方と調べ方」にて歴史をとらえる見方・考え方を紹介しております。学習活動では、時代の特色やイメージをとらえやすくするため、「タイムトラベル」が設定されており、各時代を比べて話し合うなど、言語活動を生かした学習を取り入れることができるよう工夫されております。

「中学歴史 日本と世界」山川出版社でございます。内容につきましては、扉絵や本文などで高校の教科書や図録に載っているイラストを紹介しており、高校の学習との接続が配慮されております。学習活動では、資料については厳選されたものが多くございます。

「中学社会 歴史的分野」日本文教出版でございます。内容につきましては、道徳で使われた題材が含まれるなど、教科横断的な部分があり、発展的に活用しやすいものとなっております。学習活動につきましては、まとめや課題学習へのアプローチが学習内容からリンク

しやすいものになっております。

「新しい日本の歴史」育鵬社でございます。内容につきましては、各章の導入に単元を見通した「歴史絵巻」があり、各時代の特色を大まかに捉えることができるよう工夫されております。学習活動では、近現代史における資料は、考えを深めることができるものが多くございます。

「ともに学ぶ人間の歴史」学び舎でございます。内容につきましては、学習内容の構造化と焦点化が重視されており、各時代の特色をとらえやすい構造になっております。学習活動では、各ページに掲載された資料を基に、話し合いや考察する学習活動を行うことができるものとなっております。

続きまして、教科「社会」、種目「公民」でございます。

「新しい社会 公民」東京書籍でございます。内容につきましては、書き込み式のワークスペースが充実しております。学習活動につきましては、授業ですぐに使用可能な課題が多く掲載されております。

「中学社会 公民 ともに生きる」教育出版でございます。内容につきましては、発展・補充教材も適度に掲載されております。学習活動では、生徒の主体的な学びを促す構成になっております。

「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」帝国書院でございます。内容につきましては、見開きのページが見やすいレイアウトとなっております。学習活動では、生徒の主体的な学びを促す構成になっております。

「中学社会 公民的分野」日本文教出版でございます。内容につきましては、本文、資料とも全体的に文字数が少ないため、見やすく分かりやすい構成になっております。学習活動では、生徒の主体的な学びを促す構成になっております。

「新しい公民教科書」自由社でございます。内容につきましては、章末のワークスペースは枠だけ設けられた部分が多くなっております。学習活動につきましては、国際社会の單元では、国際平和をどう作り上げるのかを考えさせるものとなっております。

「新しいみんなの公民」育鵬社でございます。内容につきましては、内容構成のバランスがよいものとなっております。学習活動では、生徒の主体的な学びを促す構成になっております。

続きまして、教科「社会」、種目「地図」でございます。

「新しい社会 地図」東京書籍でございます。内容につきましては、地理で学ぶ課題に関する地図が豊富で、現代の諸課題やエネルギー問題など教科書に沿った形で資料を提示しております。

「中学校社会科地図」帝国書院でございます。内容につきましては、「日本の諸課題」や「世界と日本のつながり」に関してまとまっているページがあり、世界の国々のイラストを配した鳥瞰図も掲載されております。

続きまして、教科「数学」、種目「数学」でございます。

「新しい数学」東京書籍でございます。内容につきましては、生徒の理解度を配慮した問題設定になっております。表現につきましては、全体的に文章や計算問題と絵、図、表、グラフがバランスよく入っております。

「数学の世界」大日本図書でございます。内容につきましては、巻末に各学年で学習した重要な項目をまとめており、冊子にして持ち運べるようになっております。表現につきましては、連立方程式の解き方は、加減法、代入法でページの色分けをしております。

「中学校数学」学校図書でございます。内容につきましては、例題から問いにかけての問題数が充実しております。表現につきましては、QRコードが付いており、プログラミングも体験できるように構成されております。

「中学数学」教育出版でございます。内容につきましては、分数のほか算数が苦手だった生徒に配慮した中1ギャップ対応の内容が巻頭、章の扉、巻末と随所に配列されており、量も質も充実しております。表現につきましては、数学史や社会での数学の活用場面を意識した内容が豊富でございます。

「未来へひろがる数学」啓林館でございます。内容につきましては、巻末に発展的な問題や活用の問題が掲載され、問題数も適量でございます。表現につきましては、プログラミング的思考を育む学習を扱っております。

「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学」数研出版でございます。内容につきましては、発展的な学習内容を取り扱うページが多くございます。表現につきましては、アルファベットの確認表などの工夫された資料が多くございます。

「中学数学」日本文教出版でございます。内容につきましては、チャレンジ問題の量が充実しております。表現につきましては、注目すべき数をマーカー式で強調しております。

続きまして、教科「理科」、種目「理科」でございます。

「新しい科学」東京書籍でございます。内容につきましては、学年が進むにつれ、1回のページ数が増え、発達段階に配慮した量になっております。学習活動につきましては、探究をテーマにして、主体的・対話的で深い学びにつながる構成になっております。

「理科の世界」大日本図書でございます。内容につきましては、生活、産業、科学史との関連が分かりやすくなっております。学習活動につきましては、問題解決型の題材が豊富で、学習の進め方についても明示されております。

「中学校科学」学校図書でございます。内容につきましては、学習指導要領に沿った編成で発展の部分が多く、全体量が多くございます。学習活動につきましては、日常生活との関連を重視し、取り上げる題材や補充資料は、普段の生活の中で見るもの、触れるものを取り扱っております。

「中学理科」教育出版でございます。内容につきましては、章ごとの問題は少ないですが、単元ごとの確認問題は充実しております。学習活動につきましては、考えよう、話し合おうのカテゴリーが豊富でございます。

「未来へひろがるサイエンス」啓林館でございます。内容につきましては、高校への接続、発展的な内容、応用技術などの紹介がございます。問題は充実しております。学習活動につきましては、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、配慮されております。

続きまして、教科「音楽」、種目「一般」でございます。

「中学音楽」教育出版でございます。学習活動につきましては、教材に「問い」が設けてあり、話し合いを進める手だてがございます。

「中学校の音楽」教育芸術社でございます。学習活動につきましては、自分の考えを整理させながら学習を進め、主体的・対話的に学びを实践できる表記になっております。。

続きまして、教科「音楽」、種目「器楽合奏」でございます。

「中学器楽」教育出版でございます。内容につきましては、気鳴楽器系、撥弦楽器系の流れで作られております。

「中学生の器楽」教育芸術社でございます。内容につきましては、和楽器以外の楽器、和楽器の流れで作られております。

続きまして、教科「美術」、種目「美術」でございます。

「美術」開隆堂でございます。内容につきましては、新学習指導要領の内容を全題材を通じて総合的に育成する内容となっており、1冊ごと、学習の展開に沿った流れで構成されております。

「美術」光村図書でございます。内容につきましては、発想・技能・鑑賞を系統的に掲載。3学期制、2学期制どちらにも対応できるよう、題材数・領域のバランスが工夫されております。

「美術」日本文教出版でございます。内容につきましては、新学習指導要領に基づいた題材配列と系統性を踏まえ、3年間の発達の段階に即した3冊編成になっております。

続きまして、教科「保健体育」、種目「保健体育」でございます。

「新しい保健体育」東京書籍でございます。学習活動につきましては、課題の提示、課題解決の段階が具体的に示されております。

「中学校保健体育」大日本図書でございます。内容につきましては、発達段階に応じて、学習すべき内容が学年ごとにバランスよくまとめられております。

「保健体育」大修館書店でございます。内容につきましては、知識的な内容よりも考えさせる内容になっております。

「中学保健体育」学研教育みらいでございます。学習活動につきましては、探究・考える・調べる・まとめる・深めるなどのポイントが明確にされていて、主体的な学びを促す構成になっております。

続きまして、教科「技術家庭」、種目「技術分野」でございます。

「新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍でございます。内容につきましては、材料と加工が66ページ、生物育成が46ページ、エネルギーが56ページ、情報が62ページであり、生物育成が他社より多くなっております。

「New技術・家庭 技術分野」教育図書でございます。内容につきましては、材料と加工が66ページ、生物育成が40ページ、エネルギーが62ページ、情報が82ページであり、情報が他社より多くなっております。

「技術・家庭 技術分野」開隆堂でございます。内容につきましては、材料と加工72ページ、生物育成44ページ、エネルギー52ページ、情報70ページであり、材料と加工が他社より多くなっております。

続きまして、教科「技術家庭」、種目「家庭分野」でございます。

「新しい技術・家庭 家庭分野」東京書籍でございます。学習活動につきましては、活動例の中でグループ対話的に進める活動が取り上げられております。

「New技術・家庭 家庭分野」教育図書でございます。学習活動につきましては、各章の終わりに生活の課題と実践や振り返りが掲載され、主体的・対話的で深い学びに寄与する構成となっております。

「技術・家庭 家庭分野」開隆堂でございます。内容につきましては、学習の意義や大切さ、生徒の関心や実生活を学びにつなげる工夫がされております。

続きまして、教科「外国語」、種目「英語」でございます。

「NEW HORIZON」東京書籍でございます。内容につきましては、「Grammar for Communication」で、そのUnitで学習した文法が整理されております。表現につきましては、SDGsに関わる主な教材を10点取り扱っているなど、現代的な学習内容を掲載しております。

「SUNSHINE」開隆堂でございます。内容につきましては、各Program冒頭に到達目標が示されております。表現につきましては、SDGsに関わる主な教材を11点

取り扱っております。

「NEW CROWN」三省堂でございます。内容につきましては、各Lesson冒頭に、その単元の大まかな内容を予想できる英文がございます。表現に関しましては、SDGsに関わる主な教材を7点取り扱っております。

「ONE WORLD」教育出版でございます。内容につきましては、「Active Plus」で対話や発表のための例文がまとめられております。表現につきましては、SDGsに関わる主な教材を9点取り扱っております。

「Here We Go!」光村図書出版でございます。内容につきましては、巻末の「Story Retelling」で各Lessonの内容が絵でまとめられており、「話す(発表する)」活動に活用できるものでございます。表現につきましては、SDGsに関わる主な教材を8点取り扱っております。

「BLUE SKY」啓林館でございます。内容につきましては、巻末の「Word Box」にカテゴリーやUnit等の教材別に学習した単語や熟語がまとめられております。表現につきましては、SDGsに関わる主な教材を6点取り扱っております。

続きまして、教科「特別の教科 道徳」、種目「道徳」でございます。

「新しい道徳」東京書籍でございます。内容につきましては、内容構成のバランスがよく、重点項目がユニット化されております。

「中学道徳 とびだそう未来へ」教育出版でございます。内容につきましては、発展・補充の教材がバランスよく配分されております。

「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」光村図書出版でございます。内容につきましては、見通しと振り返りの補助教材が充実しております。

「中学道徳 あすを生きる道徳ノート」日本文教出版でございます。内容につきましては、3年間を見通した系統的、発展的な学習への工夫がされております。

「中学生の道徳 明日への扉」学研教育みらいでございます。内容につきましては、大事なテーマはユニット化されており、多面的、多角的に学べるようになっております。

「中学生の道徳」廣済堂あかつきでございます。内容につきましては、別冊のノートがあり、記録を残す工夫がございます。

「道徳 中学」日本教科書でございます。内容につきましては、カリキュラムマネジメントを考慮し、1年間を振り返るワークシートを附属しております。

調査研究報告書の御説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

○坂田委員 今回、もともと指導要領が大きく変更されているような科目があると思うのですけ

れども、例えば英語の場合は、4技能について補足されていると思うのですよね。お願いする前に言うべきだったと思いますけど、そういうところの記述があまりなくて、指導要領はもちろん満たしているわけですけど、でも新しく教育方針として変えられた部分についての対応について、もう少し教えてもらえるといいなと思ったのですけどね。英語は4技能ですけど、数学は最後のところにデータの活用とか、それから3年生が標本調査ですよね。そういうのが出ていて、皆さん、どう教えるのかなというか、普通の数学の科目の部分と、それからデータの扱いの部分はちょっと性格が違っていて、もちろん数字は数字なのですが、どういうふうによく組み合わせるのかとか、そういうところの実感があると、データのサイエンスは、現在すごく発展してきているので、我々としては参考になるのですけどね。

○指導室長 次回、4年後になってしまうのですけど、今度は学習指導要領は変わるところではないですけれども、今の御意見を参考に実施してまいりたいと思います。

○教育長 小林先生、長島先生、いかがですか。

○長島委員 今回の調査では、主体的で対話的で深い学びと書いてあるので、新しい指導要領に対応しているのだなというのは分かりやすいと思うのですけど、確かに教科によっては、そうかもしれない。

○坂田委員 特に1個だけということであれば、英語ですね。数学は私が見る限りは、データの部分の扱いというのは、各発行者そんなに変わらないのですよ。だから、そういう意味で選べる選択肢があまりないので問題ないのですけど、英語の4技能に関しては、僕はかなり教科書によって差があると思いますね。

○小林委員 1点よろしいでしょうか。今回の教科書を読ませていただきまして、非常に大きく変わってきているのが、デジタルコンテンツの部分だと思うのです。各発行者によっても方針が違うところもありますし、デジタルコンテンツに関して、どのように判断するのかというのが、一つ選定のポイントになるような気がします。東京都の資料では、デジタルコンテンツに関しては触れないということで、それに合わせる形で、荒川区の調査研究報告に関してもあまりデジタルコンテンツに関してはどうだということはないのですが、実際いかがでしょうか。その辺りの話題は出なかったのか、教えていただくとありがたく思います。

○指導室長 調査研究のところ、校長から報告があった中では、QRコードはついていますが、そこをQRコードで写しても大もとがまだできてないのか、つながらないということで、内容が確認できないというお声ばかりでございました。

○小林委員 例えばQRコードを読み取ると、デジタルコンテンツが充実している教科書がありました。実験の作業の手順まで動画となっていて、とても分かりやすいのですね。またNH

Kの「NHK for School」などを取り入れ、短いですが、デジタルコンテンツで非常にいいものを使っている教科書もあります。その辺りをどれくらい判断すればいいのかで迷っています。どう考えればいいのでしょうか。

○指導室長 デジタルコンテンツにつきましては、今後1人1台のタブレットというところも見据えますと、やはりこれから大事なコンテンツになってくるかなと思っております。

○長島委員 教科書と同じ内容のものがデジタル教科書で、そこから派生しているのは、あれは要は教材扱いなのですね、多分。

○指導室長 教材になります。

○長島委員 選定にも関係ないというので、いろいろなものをくっつけてあると思うんですけど、だからそこは難しいですね。教科書だけ見るものなのか、付随しているのを見るものなのか難しい。

○小林委員 難しいですね。国語もデジタルコンテンツがいい教科書がありました。例えば平家物語の朗読があり、日本語はこんなにきれいなのかと感動するようなものが入っているので、そういう部分を勘案していいのかどうなのか、迷っているところです。

○教育総務課長 昨年、小学校の教科書採択では、もうQRコードがほとんどの教科書に出てきました。ICTの活用は今回の休校で取り上げられてきて、デジタル教科書についても、予算もかなりついてます。また、休校の時には各発行者からデジタルコンテンツそのものもかなり配信をしてきて、デジタルのコンテンツに子どもたちはかなり興味を持ってきていると思います。小林委員のおっしゃられたように、こういうのを活用するといいのですよみたいなことをおっしゃっていただければ、教員たちも、もし採択をしたときに、デジタルコンテンツを活用した授業をできるのではないかと思います。これからはきっとデジタルの方に移行していく世代なのかなと思います。発行者もみんな一斉にQRコードを採用したのです。小学校の採択時ももそうでしたけど、QRコードとかユニバーサルデザインフォントとか、ほとんどの欄に書いてありましたので、逆に言っていただいて、それも活用するように授業で活用できればいいのかなと思います。

○教育長 荒川区の場合、学校教室内では、電子黒板を使ってそのデジタル教科書を使っているのですが、教科書のQRコードをどれだけ授業で使うかというのが、まだちょっと不明瞭な部分があります。東京都の教科書検定でも先ほど長島先生がおっしゃったように、二次元コードについてはあくまでも教材扱いになってしまっているのですが、特段何かコメントするというのはないのですが、コロナ騒ぎで自宅学習が叫ばれている中で、教科書の選定についても、二次元コードをどのように位置づけるかというのは、大変難しくなっていると思います。

先ほど山形課長からお話ししたように、今の時点ではこの調査研究報告書もそれほど二次

元コードの評価というのはしていませんけど、先生方には教科書を読み込まれて、二次元コードも参考にされる中で、総体として御評価いただきたい、こういう形でしか今のところ申し上げられません。

○教育総務課長 きっと新人の教員にとっても、教材を作るときにデジタルの方が入りやすいのであれば、それは働き方改革にもなると思うので、どんどん活用すべきかなと思いますね。

○小林委員 そうですね。

○教育総務課長 ぜひ先生方に御意見を言っていたいただければ、それが残っていきますので、当日。

○教育長 去年の小学校のときは、まだ工事中とか、4月までにはデジタル資料を完成させますみたいなのところもありましたね。

○教育総務課長 今回、発行者も学校が休校で、デジタルコンテンツのことはかなり意識していると思います。さっきのNHKのもそうでしたけど。情報コンテンツはこれからはかなり意識してくると思います。

○小林委員 そうですね。

○教育長 今の時点ではまだ作成中だけど、来年の4月までには頑張ろうという発行者も増えてくるかもしれないですね。とはいえ、今の時点で選んでしまっていていいかというのは、迷うところではあると思います。

○教育総務課長 もし休校になったら、本当にデジタルコンテンツが頼りになってしまいますから。

○指導室長 各者力を入れていたり、コンテンツというのは違いが見えてくるかなと思っております。

○坂田委員 デジタルコンテンツについては、今みたいに授業ができなかったときの補完という役割と、それとは別に普通の教科書の補完という活用法があると思うのですね。本当は重視してはどうかと思うのは、数学なのです。数学の概念の理解とか、それから空間図形の理解とか、そういうのはやはり映像があると大分違うのではないかと考えていまして、そこで理解できずに苦労してしまう子どもたちをサポートするのに、映像は非常に有効なのではないかなと思っているのですけどね。

○小林委員 そうですね。動画や絵といったイメージで理解させるのにたけている教科書もありました。

○教育長 そのほかまた御質問等ありましたら、先ほどの坂田委員からの御指摘も含めて、事務局に寄せていただければと思います。

今回は、教科書採択の日になります。8月7日金曜日でございます。1時半から開始し、休憩を挟んで終了は5時半頃を見込んでございます。長丁場となりますが、傍聴者も含めて、

多数の注目が集まることとなりますので、よろしくお願いいたします。

事務局から何か連絡事項はありますか。

○教育総務課長 日程のところ、リバーサイドマラソンを今回中止とさせていただきました。

それと、来週の教科書採択につきましては、昨年304会議室で採択をして、305会議室で聞いていただいていたのですが、今回感染対策をしまして、304、305会議室を通して採択をしていただいて、10人の傍聴の方はそこに入れていただいて、そのほかの方については放送という形で、特別会議室と議員待遇者控室で音声を聞いていただく形にいたしました。かなり対策をとってございますので、長丁場になりますけど、よろしくお願いいたします。

以上です。

○教育長 以上をもちまして、教育委員会令和2年第14回定例会を閉会といたします。

了